

県内百貨店・主要小売店7月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	▲3.1		▲1.1
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	3.4	1.5	▲2.0
Vドラッグ	6.1	2.2	0.8
ホームセンターバロー	▲1.7	▲2.9	▲5.6
セリア	3.5	▲1.2	▲0.8
ヒマラヤ	2.2	▲3.0	▲7.5

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品など3社の合計。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計

県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の7月上高実績（速報値、小売店は既存店売上高）は、6社中2社が前年同月上高を上回った。Vドラッグは、既存店だけでなく全店の売上高、客数も伸びた。Vドラッグは新型コロナウイルス感染症第7波の影響で、鎮痛薬や除菌素材の売れ行きが伸長。せき止めやトローチをはじめとする風邪薬関連の売れ行きも好調で、客単価も4カ月ぶりに増加に転じた。

数字でみる
ぎふ経済

7月の百貨店 小売店売上高 2社が前年を上回る

バローは土用の丑関連の売り上げが、50%増と大きく伸長。担当者は「曜日並びにも恵まれ、4～6月期のマイナスを半分程度埋める売り上げだった」と振り返った。ホームセンターバローでは、ペットサービス、サイクル関連の素材が好調だったが、全体的な買い控え傾向が響いた。セリアは12店舗を新規出店した効果で、全店の売上高は5カ月連続で伸ばしたが、既存店売上高は9カ月連続で下回った。ヒマラヤの既存店売上高が前年同月を下回ったのは3カ月ぶり。岐阜高島屋も売上高、客数ともに下げた。